

一般社団法人軽金属学会 平成24年度定時総会

【第1号議案】(報告事項)

平成23年度事業報告に関する件

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

I. 事業の状況

平成23年4月1日付けで、公益型で非営利性が徹底された法人である「一般社団法人(非営利型法人)」の設立登記を行った。本年度は移行後の初年度として、従来同様の活動に加え、当会の使命の再確認とそれに相応しい体制の確立を図った。また、創立60周年を迎え、記念事業を実施した。

主要な活動内容は以下の通りである。

[1]研究会、学術講演会等の開催(定款第4条第1号)

1. 春秋大会の開催

1) 第120回春期大会

会期 : 平成23年5月21日(土)、22日(日)
会場 : 名古屋大学東山キャンパス
実行委員長 : 金武直幸(名古屋大学)
定時総会 : 5月21日(土)
研究発表講演 : 5月21日(土)、22日(日) 197件
ポスターセッション : 5月21日(土)、22日(日) 30件
表彰式 : 5月21日(土)
会員懇親会 : 5月21日(土)(サーウインストンホテル)
見学会 : 5月20日(金) 三菱重工業(株)、あいち臨空新エネルギー実証研究エリア 20名参加
機器・カタログ展示 : 5月21日(土)、22日(日)

2) 第121回秋期大会

会期 : 平成23年11月12日(土)、13日(日)
会場 : 早稲田大学西早稲田キャンパス
実行委員長 : 神戸洋史(日産自動車(株))
研究発表講演 : 11月12日(土)、13日(日) 145件
ポスターセッション : 11月12日(土)、13日(日) 47件
表彰式 : 11月12日(土)、創立60周年記念表彰を合わせて実施
会員懇親会 : 早稲田大学(11月12日) 創立60周年記念祝賀会を合わせて実施
機器・カタログ展示 : 11月12日(土)、13日(日)

2. シンポジウム、セミナー等の開催

	名 称	開催日	開催場所	参加者数
1	第87回シンポジウム 「化成処理を下地としたアルミニウム合金塗装材の評価」	平成23年8月30日	ウイंकあいち	17名
2	第88回シンポジウム 「集合組織の制御とその形成機構」	平成23年11月13日	早稲田大学西早稲田キャンパス	27名
3	軽金属基礎技術講座 「アルミニウムの製造技術」	平成23年9月1日、2日	ヤマハリゾート つま恋	30名
4	第31回軽金属セミナー 「アルミニウム合金の時効析出」(第4回)	平成23年12月3日	関西大学千里山 キャンパス	24名

[2]国内外における研究協力・連携の推進(定款第4条第2号)

1. 国際交流

(1) Asian Network on Light Metals (ANLM)

ICP(International Communication Program)ミーティングの開催地が一巡し、ICPの機能をさらに充実させるために活動を次のステージへ移すべき時期が来たと判断し、日本側でICPの役割を再考した結果、2012年にICPミーティングを主催する日本として、次の5項目を議題とする提案書を関係各地域(中国、韓国、台湾、オーストラリア)の代表へ2012年3月に送付し、4月末までに意見を求めた。

- ① ICP を改組して Asian Network on Light Metals (ANLM) と名称変更し、さらに活動の質的向上を目指す。
- ② 参加者の経済的負担を最小限にとどめつつ、地域間交流の場としての機能をさらに充実させるために、ANLM ミーティングの開催地を固定化して、必要最少数の参加者により集中的な議論を行う。
- ③ アジアフォーラム(AFLM)の運営は ANLM ミーティングにて協議する。
- ④ ICP ミーティングを公開フォーラムにし、地域代表による話題提供を基軸とした情報交換の場とする。
- ⑤ ICP ホームページをプラットフォームにした情報交換の場も設け、常に最新情報を加盟地域が共有できるようにする。

(2)ANLM ミーティング開催

下記にて開催することと決定した。

- ①開催日: 2012年11月9日(金)(第123回軽金属学会秋期大会の前日)
- ②開催場所: 千葉工業大学 津田沼キャンパス
- ③講演関連: 依頼講演(各国の招待者による講演)+各国一般講演・・・計10件程度

(3) ANLM のホームページ開設

アジア地域の軽金属に関する産業と学術の相互交流を深め、加盟地域間の発展に資する交流の場とすることを目的に、軽金属(アルミニウム、マグネシウム、チタンなど)に関する研究者、開発者を対象として、英文ホームページを開設すべく検討を行い、3月中旬に業者に発注した。開設時点では ANLM への移行は承認されていないため、まずは ICP からのスタートとした。

[3]学会誌、学術図書等の刊行(定款第4条第3号)

1. 会誌「軽金属」等の編集発行

本年度は、Vol. 61.4～Vol. 62.3 までの12冊を、うち、Vol. 61.11 は創立60周年記念特集号として刊行した。掲載内容の分類は以下のとおりである。また、共同刊行欧文誌 Materials Transactions の Vol.52, No.5 は「Aluminium Alloys 2010」特集号として刊行した。

投稿から査読、審査まで website 上で可能とする J-STAGE3 投稿審査システムの新規利用公募に応募し、平成23年9月末採用通知を受け10月から準備を開始し、平成24年3月15日に本運用を開始した。

【会誌】

区分	編数	区分	編数	区分	編数
巻頭言	2	技術報告	1	研究室／研究所紹介	2
研究論文	53	連載講座	12	国際会議便り	3
研究ノート	1	新製品・新技術紹介	0	支部編集特集	29
解説	14	随想	4	はぐくむ	2
LMLレビュー	0	LMコラム	5	掲載総数	128

【創立60周年記念特集号】

区分	編数	区分	編数	区分	編数
巻頭言	1	研究部会の歴史	1	若手の会・女性会員の会	2
特別寄稿	3	研究発表講演会の歴史	1	軽金属学会の思い出・今後への期待	26
軽金属学会の歩み	1	支部活動	8	研究、製造技術の歩みと展望	8
				掲載総数	51

2. 研究部会報告書の発行

No.	名 称	発行日
55	「アルミニウム合金化成処理材・塗装材の耐食性に及ぼす微量添加元素の影響」	平成23年8月30日
56	「集合組織の制御とその形成機構」	平成23年11月13日

3. その他刊行物

名 称	発行日
第120回春期大会講演概要集	平成23年4月21日
第121回秋期大会講演概要集	平成23年10月12日

[4]研究及び調査の実施(定款第4条第4号)

研究部会に関しては、前年度より継続の3つの部会に加えて、新たに6つの部会が発足し活発な研究事業を実施した。

常設部会に関しては、前年度までに学会のロードマップ作成等で一定の成果はあったが、当初の目的である学会として強化す

べき点や弱点等を戦略的に議論する場として十分機能しなかったことから、一旦解散することとし、新たに、数年以内に実施できる公的な予算による大型プロジェクトを念頭に研究計画の提案を募るべく、プランフォーマット案を作成した。次年度以降、提案された研究計画の実現の可能性を研究委員会で議論したうえで、研究組織を具体化させてプロジェクト化を進める。

	部 会 名	課 題	研究成果概要
1	高機能押出加工技術研究部会 (22年9月開設、25年度末終了)	押出形材の表面欠陥の抑制など従来の押出加工技術の向上と時代の要請に対応した機能的な押出加工技術の創成を行なう	1)7075合金の押出シミュレーションと生産技術データベースとの融合 ・第6回、第7回研究会にて、押出シミュレーション(日本大学で実施)並びに押出し実験(富山大学で実施)の結果について議論し、次年度に向けた課題を整理した。 2)6063合金押出材表面の形成メカニズムの検討 ・第6回、第7回研究会にて、押出し実験(富山大学で実施)の結果について議論し、結果のまとめ方並びに次年度に向けた課題を整理した。
2	摩擦攪拌プロセスによる接合と表面改質研究部会 (1年間延長23年度末終了)	摩擦攪拌プロセスの諸現象と継手強度、表面改質などに関する調査・応用研究	・平成23年11月1日に富山県工業技術センターで第1回の委員会を開催し、共通試料のデータの報告および検討を行った。その際、技術センター内に装備された摩擦攪拌装置の見学ならびに実演を行った。 ・成果物の目次および執筆者への依頼文が完成した。 共通試料 A7075-T6 材 疲労試験に関する件(富田委員、平田委員、加藤部会長)、金属組織に関する件(伊藤委員) 共通試料 ADC12 合金 継手に関する件(加藤部会長)、塑性流動に関する件(柴柳委員)、衝撃圧縮に関する件(横山委員、中井委員)、異種材料に関する件(平田委員)、温度測定に関する件(高山委員、桂木委員)、その他(篠田委員、脇坂委員、加藤部会長) 平成24年2月末に原稿提出予定。その後、編集作業および印刷製本を予定している。
3	集合組織研究部会 (1年間延長23年度末終了)	集合組織を十分理解し、工業的応用への展開を図ること	1. 研究部会報告書「集合組織の制御とその形成機構」を作成した。 2. 成果報告のために、第121回秋期大会期間中の11月13日に第88回シンポジウムを開催した(参加者45名)。 3. 最終の研究部会で部会委員に集合組織文献データベースの入ったDVDを配付した。 4. 10月14日・15日に日本金属学会分科会「結晶と組織の配向制御による材料高性能化研究会」と共催講演会を開催した(参加者32名)。
4	アルミニウム圧延における生産性研究部会	アルミニウム板圧延の、特に生産性の向上について、意見交換・検討を行いながら、技術レベルの向上を図る。	①第3回工場見学会:平成23年10月27日-28日(軽圧3工場) ・主に若手技術者のスキルアップに繋がった。参加者34名。 ②第3回会合:平成23年12月16日 ・各社生産性指標について実績をベースに報告し擦り合せ作業を実施。多少考え方にバラツキがあるが統一的な指標にまとまる見込み。
5	新機能発見・化学プロセス部会	化学反応に関わるプロセスを取りあげ議論する。表面処理、腐食、精錬、リサイクル等の30年後を見据えた情報交換の場とする。	○第1回会合:平成23年7月21日 講演会と議論 ・技術の源流(増子昇先生) ・アルミニウム協会ロードマップ(古河スカイ 難波江元広氏) ○第2回会合:平成23年10月26日 講演会と議論 ・室温イオン液体とその応用・めっき、精錬を中心として(大阪大学・津田先生) ・化成処理の反応・ノンクロム処理の開発(日本パーカライジング・西澤氏) ◇ラボ見学・打合せ:平成23年12月23日 大阪大学 ○第3回会合:平成24年1月23日 ・溶融塩・イオン液体を用いたAlまたはAl合金めっき(北海道大学・上田先生) ・研究紹介(日本軽金属・田口氏)
6	成形性評価シミュレーションに関する基盤技術開発部会	アルミニウム合金の成形性評価に必要な基礎データの整備と充実を図る。	単軸引張と二軸引張の物性値の差異調査 ・供試材:5182-O 1.0t材(成分、機械的性質、FLD等基本データ、結晶組織観察(GS,晶出物)) ・二軸引張試験結果報告(5%までのデータ取得、大歪み領域での降伏曲面の測定が課題) ・DEFORM-3Dによる供試材(5182-O)の単軸引張シミュレーション

7	アルミニウム合金圧延材の組織形成予測部会	昨今、材料組織形成シミュレーションを用いた特性予測が進展しており、材料データプラットフォームの構築で、わが国独自の組織形成予測技術を実現させる。	平成 24 年 2 月 2 日に第 2 回会合を開催し、各企業からの組織形成予測技術に対する現状と今後の期待に関して発表を行うとともに、同志社大学の仲町先生による組織形成技術に関するレクチャーも実施した。 組織形成予測のシミュレーションには膨大な実験データが必要と考えられ、まずは本部会において多くのパラメータを一度に議論するのではなく、あるパラメータに注目したデータ取りを純アルミニウムなどで実施するなど、シミュレーション実現への第 1 ステップとして実施する方向での合意がなされた。仲町先生から具体的なソフト作製の提案もあり、今後部会メンバーで具体的活動について議論する。
8	アルミニウム中の水素研究部会	アルミニウム合金の特性および品質の向上に最適な水素の量・存在状態を明確にする。	平成 23 年 9 月 1 日に第 1 回部会を開催し、水素測定の種類現行法について議論し、現状の問題点を出し合った。 平成 24 年 1 月 24 日に第 2 回部会を開催し、ラウンドロビンテストの実施方法を決定した。

[5] 研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第 4 条第 5 号)

1. 研究・業績の表彰

それぞれ選考委員会において選考を行い、理事会での承認を得て、表彰は、(1)～(3)を平成 23 年 5 月開催の第 120 回春期大会にて、(4)～(12)を平成 23 年 11 月開催の創立 60 周年記念・第 121 回秋期大会表彰式にて行なった。(13)については、平成 24 年 2 月末までに表彰楯を各大学、高等専門学校へ送付し、卒業・修了など表彰に相応しい時機に表彰を託した。

(1) 第 14 回軽金属学会賞

前年度末の選考委員会で里 達雄前会長が委員長となり、1 名の候補者について審議の結果、当該候補者 1 名を選考した。
(受賞者) 九州大学 名誉教授 美浦康宏 君

(2) 第 13 回軽金属学会功労賞

前年度末の選考委員会で里 達雄前会長が委員長となり、推薦された 3 名の候補者について審議の結果、当該 3 名を選考し、うち 1 名を軽金属学会特別功労賞、2 名を軽金属学会功労賞候補者として選考した。

(受賞者) 軽金属学会特別功労賞 古河スカイ(株) 技術顧問 浅見 重則 君
軽金属学会功労賞 YKK AP(株) 主幹技師 新瀬 誠 君
九州工業大学 名誉教授 長谷部光弘 君

(3) 第 9 回軽金属功績賞

前年度末の選考委員会で里 達雄前会長が委員長となり、推薦された 4 名の候補者の中から当該候補者 3 名を選考した。

(受賞者) 九州大学 主幹教授 堀田善治 君
元 古河スカイ(株) 常務取締役 松尾 守 君
大阪大学 教授 南埜宜俊 君

(4) 創立 60 周年記念表彰

前年 4 月以降、60 周年記念式典部会の実行部隊である総務委員会において検討を重ねたうえで選考を行った。

1) 60 周年記念功労賞

功労賞贈賞対象者として、本年 3 月 31 日現在で 55 歳以上であること、当学会の在籍期間は 25 年以上であること、50 周年時に記念功労表彰されていないことを同時に満足する方々として、161 名(氏名省略)を選考した。

2) 60 周年記念特別功労賞

過去 10 年間の特別行事で功労のあった者として、昨年開催された第 12 回アルミニウム合金国際会議(ICA12)の開催に多大な貢献をした以下の 5 名を選考した。

里 達雄(東京工業大学)、熊井 真次(東京工業大学)、高山 善匡(宇都宮大学)、
土田 孝之(日本軽金属(株))、梅澤 修(横浜国立大学)

3) 60 周年記念学術功績賞

過去 10 年間で「軽金属」および「Mat.Trans.」に論文投稿が多かった以下の 9 名を選考した。

畑中 伸夫(鳴門教育大学)、世利 修美(室蘭工業大学)、大崎 修平(山口大学)、中山 栄浩(山梨大学)、
山本 厚之(兵庫県立大学)、松田 健二(富山大学)、戸田 裕之(豊橋技術科学大学)、
箕田 正(住友軽金属工業(株))、田中 宏樹(住友軽金属工業(株))

4) 60周年記念感謝状

過去10年間に当学会の事業発展のために多大なご支援を賜った以下の方々および団体を選考した。

小原 嗣朗(東京大学名誉教授)、神尾 彰彦(東京工業大学名誉教授)、小菅 張弓(本学会技術参与)、小松 伸也(関西大学名誉教授)、菅野 幹宏(東京大学名誉教授)、大堀 紘一(本学会技術参与)
公益財団法人軽金属奨学会、株式会社アーレスティ、株式会社日刊工業新聞社

(5) 平成23年度軽金属論文賞推薦委員会

高山善匡委員長のもとで対象論文75編の内16編の論文を推薦した。

(6) 平成23年度軽金属論文新人賞推薦委員会

高山善匡委員長のもとで、対象者24名の中から6名を推薦した。

(7) 平成23年度軽金属論文賞選考委員会

推薦委員会により推薦された論文の中から、吉田英雄委員長以下選考委員が3編を選考した。

(受賞論文)

1) 受賞論文名 「アルミニウム合金板の曲げ加工性に及ぼす板厚方向の集合組織分布の影響」

(軽金属 第61巻2号(2011) pp. 53-59)

住友軽金属工業株式会社, 山形大学大学院 伊川 慎吾 君

住友軽金属工業株式会社 浅野 峰生 君

山形大学 黒田 充紀 君

山形大学 吉田 健吾 君

2) 受賞論文名 「Thermal Desorption Spectroscopy Study on the Hydrogen Trapping States in a Pure Aluminum」

(Materials Transactions, Vol. 52, No.2 (2011) pp. 130-134)

茨城大学大学院生(現 株式会社神戸製鋼所) 泉 孝裕 君

茨城大学 伊藤 吾朗 君

3) 受賞論文名 「Effects of Cu Addition on Behavior of Nanoclusters during Multi-Step Aging in Al-Mg-Si Alloys」

(Materials Transactions, Vol.52, No.5(2011) pp. 906-913)

東京工業大学大学院生 金 在皇 君

東京工業大学 小林 郁夫 君

東京工業大学 里 達雄 君

(8) 平成23年度軽金属論文新人賞選考委員会

推薦委員会により推薦された論文の中から、吉田英雄委員長以下選考委員が3編(3名)を選考した。

(受賞者)

1) 受賞者 千葉 浩行 君 早稲田大学大学院生(現 ホンダエンジニアリング(株))

論文名 「その場観察によるアルミニウム合金の固液共存温度域における力学的特性の取得」

(軽金属 第61巻4号(2011) pp. 135-141)

2) 受賞者 金 在皇 君 東京工業大学大学院生

論文名 「Effects of Cu Addition on Behavior of Nanoclusters during Multi-Step Aging in Al-Mg-Si Alloys」

(Materials Transactions, Vol.52, No.5(2011) pp. 906-913)

3) 受賞者 金 民錫 君 東京工業大学大学院生

論文名 「Formation of Internal Crack in High-Speed Twin-Roll Cast 6022 Aluminum Alloy Strip」

(Materials Transactions, Vol.51, No.10(2010) pp. 1854-1860)

(9) 第46回小山田記念賞選考委員会

本保元次郎委員長のもと、応募技術1件について検討の結果、当該技術1件が選考された。

(受賞技術) 超低抵抗値を有する電極用複合材料「トーヤルカーボ[®]」の開発

(受賞者) 呂 明哲 君 東洋アルミニウム株式会社

井上 英俊 君 東洋アルミニウム株式会社

多田 裕志 君 東洋アルミニウム株式会社

足高 善也 君 東洋アルミニウム株式会社

(10)第34回高橋記念賞選考委員会

仲井清眞委員長のもと、各支部からの推薦4件について選考委員による書面審査の結果、4名を選考した。

- (受賞者)
- | | |
|---------|--------------|
| 上田 勇 君 | 株式会社豊田中央研究所 |
| 尾崎 敏幸 君 | 大阪豆陽金属工業株式会社 |
| 諏訪 一浩 君 | 古河スカイ株式会社 |
| 宮崎 寛 君 | 神鋼ファブテック株式会社 |

(11)軽金属奨励賞・躍進賞・女性未来賞選考委員会

伊藤吾朗委員長のもと、3つの賞について審議し、奨励賞は応募5名の候補者のうち3名を、躍進賞は2名の候補者について審議の結果、当該2名を、女性未来賞は1名の候補者について審議の結果、当該1名を選考した。

1)第29回軽金属奨励賞選考委員会

- (受賞者)
- | | |
|---------|-------------|
| 岩村 信吾 君 | 住友軽金属工業株式会社 |
| 小椋 智 君 | 大阪大学 |
| 野田 雅史 君 | 千葉工業大学 |

2)第10回軽金属躍進賞選考委員会

- (受賞者)
- | | |
|---------|-----------------|
| 千野 靖正 君 | 独立行政法人産業技術総合研究所 |
| 森下 誠 君 | 株式会社神戸製鋼所 |

3)第3回軽金属女性未来賞

- (受賞者)
- | | |
|--------|-----------|
| 渡辺睦子 君 | 古河スカイ株式会社 |
|--------|-----------|

(12)平成23年度軽金属希望の星賞

各支部からの一次推薦27名について、総務委員会による二次選考の結果、27名を選考した。

(受賞者)

所属	氏名	所属	氏名
日本大学大学院	竹田 大介 君	富山大学大学院	渡邊 克己 君
工学院大学大学院	増田 達也 君	名古屋大学大学院	大田 真一郎 君
早稲田大学大学院	斎藤 雅寛 君	豊橋技術科学大学大学院	鶴田 秀樹 君
宇都宮大学大学院	高橋 政樹 君	名古屋工業大学大学院	澁谷 将史 君
群馬大学大学院	加藤 弘規 君	大阪工業大学大学院	秋津 和哉 君
日本大学大学院	大塚 健太 君	関西大学大学院	雉鳥 紗希 君
茨城大学大学院	堤 友浩 君	大阪大学大学院	服部 雅弘 君
日本大学大学院	渡辺 唯 君	大阪府立大学大学院	二宮 剛規 君
首都大学東京大学院	真杉 美帆 君	関西大学大学院	高崎 悠司 君
東京工業大学大学院	高谷 謙斗 君	岡山大学大学院	越智 昌宏 君
長岡技術科学大学大学院	吉増 龍一 君	近畿大学大学院	赤木 宏行 君
群馬大学大学院	南雲 隆幸 君	九州大学大学院	田添 聖誠 君
横浜国立大学大学院	酒井 昭典 君	熊本大学大学院	平野 雅昭 君
茨城大学大学院	岩橋 秀樹 君		

(13)優秀ポスター賞

本賞は春秋大会で行われるポスターセッションで発表した優秀者に贈られる賞で、今年度は以下の通り春期5名、秋期10名を表彰した。

1)第120回春期大会 優秀ポスター発表賞受賞者

- ① 縦型高速双ロールキャスターで作製された鋳造板にロール面が及ぼす影響の調査 大阪工業大学大学院 山敷拓也 君
- ② 改良型単ロール法によるアルミニウム合金板の作製 大阪工業大学大学院 鎌倉圭佑 君
- ③ 疲労き裂閉口挙動の3次元イメージベース解析 豊橋技術科学大学大学院 山内翔平 君
- ④ 黒インク廃液中のカーボンブラックを利用したチタン基複合材料の機械的特性 大阪大学大学院 三本嵩哲 君
- ⑤ アノード酸化により孔周期を制御した α -アルミナメンブレンの作製 工学院大学大学院 増田達也 君

2)第121回秋期大会 優秀ポスター発表賞受賞者

- ① 金属Alの陽極酸化により形成されるナノポーラスアルミナ膜の表面化学修飾による機能化 群馬大学ATEC 攪上 健二 君
- ② Mg-Zn-Y合金の圧延加工による強度向上と組織変化 千葉工業大学 野田 雅史 君
- ③ MM-SPS プロセスで作製した純マグネシウムの時効硬化特性 日本大学大学院 萩野 敏基 君
- ④ X線CTイメージベースモデリングによるポーラスアルミニウムの圧縮特性評価 群馬大学工学部 山口 亮 君

- ⑤ 焼入れ方法の異なる Mg-Zn 合金の最高硬さに対する Zn 濃度の影響 富山大学工学部 櫻井 佑介 君
- ⑥ Al-Mg-Ge 合金の時効挙動に対する遷移金属添加の影響 富山大学工学部 松浦 圭祐 君
- ⑦ LPSO 型 Mg-Zn-Y-Zr 合金鑄造材の加工性に及ぼす Zr 添加の影響 熊本大学大学院 井上 晋一 君
- ⑧ LPSO 型 Mg-Zn-Y 合金押出材の引張特性に及ぼす LPSO 相体積分率と押出速度の影響 熊本大学大学院 福永 康文 君
- ⑨ 結晶性アノード酸化アルミナ皮膜の誘電特性と漏れ電流の制御 工学院大学大学院 深尾 智紀 君
- ⑩ Mg-Gd-Y-Zn 合金押し出し材のミクロ組織と高温特性に及ぼす Mn 添加の影響 長岡技術科学大学大学院 吉増 龍一 君

(14) 軽金属学会賞・功労賞・功績賞選考委員会

山内重徳会長が委員長となり、3つの賞について審議の結果、学会賞は2名の候補者のうち1名を、功労賞は3名の候補者について審議の結果、当該3名を、功績賞は2名の候補者について審議の結果、当該2名をそれぞれ下記のとおり選考し、理事会の承認を得た。表彰は平成24年5月開催の第122回春期大会にて行われる。

1) 第15回軽金属学会賞選考委員会

(受賞者) 千葉工業大学 名誉教授 茂木徹一 君

2) 第14回軽金属学会功労賞選考委員会

(受賞者) 古河スカイ(株) 技術部主査 石川 和徳 君
九州三井アルミニウム工業(株) 技術顧問 三久保 滋 君
三協マテリアル(株) 執行役員 山下 友一 君

3) 第10回軽金属功績賞選考委員会

(受賞者) 工学院大学 教授 小野 幸子 君
横浜国立大学 教授 福富 洋志 君

2. 人材育成

各支部において、講演会・ポスター発表など、若手人材育成に関わる事業を実施した。

3. 若手の会、女性会員の会

(1) 若手の会

第20回会合: 第120回春期大会第2日目(5月22日)に実施。参加者約42名。話題提供と質疑応答。

第21回会合: 第121回秋期大会第2日目(11月13日)に実施。参加者約50名。話題提供と質疑応答。

「若手育成のための60周年記念合同会合」: 第121回秋期大会前日(11月11日)に若手の会と女性会員の会の合同会合を開催。参加者約20名。

(2) 女性会員の会

第10回会合: 第120回春期大会第1日目に実施。参加者25名(企業16名、大学教員7名、学生2名)。託児室設置第1回試行の見学を実施。

第11回会合: 第121回秋期大会第1日目に実施。参加者22名(企業17名、大学教員4名、学生1名)。話題提供と質疑応答および託児室設置第2回試行の見学を実施。

[5] 関連学術団体との連絡及び協力(定款第5条第5号)

1. 産学官の連携

参与会を1回開催し、産学官の密接な連携のもとに、軽金属の将来に対する意見交換を行い、ユーザー側からの助言を得た。

2. 日本アルミニウム協会

日本アルミニウム協会の主催により開催された3回のユーザーとの技術交流会へ研究委員会委員の参加を呼びかけた。

3. 他学術団体

日本学術会議、材料工学連絡委員会、日本工学会等と連携を保つとともに、日本金属学会、日本鑄造工学会、日本鉄鋼協会、日本塑性加工学会、日本材料学会など、他学協会との研究発表、シンポジウムの共催、協賛、後援などの協力を積極的に行った。

[6] その他、本学会の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第6号)

1. 支部活動

1 北海道支部

1. 講演会(主催): 平成23年度軽金属学会北海道支部講演会

① 行事名: 北海道アルミニウム利用技術研究会 第1回アルミニウム技術講演会

日時: 平成23年8月18日 14:30~17:00 場所: 釧路工業技術センター2階会議室(北海道釧路市)

- 講演：「アルミニウム系材料の溶接・接合」講師 北見工業大学機械工学科 教授 富士明良 氏
「アルミ合金材の溶接構造物(船舶と応用例)」講師 運上船舶工業(有)取締役社長 運上賢逸氏
- ②行事名：北海道アルミニウム利用技術研究会 第2回アルミニウム技術講演会
日時：平成23年9月13日 14:30～17:00 場所：苫小牧市テクノセンター会議室(北海道苫小牧市)
講演：「リョービのダイカスト生産技術」講師 リョービ(株) ダイカスト本部研究開発部 井澤 龍介 氏
- ③行事名：第3回ものづくり技術交流会
日時：平成23年10月14日(金) 13:30～16:30 場所：京浜精密工業(株) 北海道工場(北海道岩見沢市)
「ダイカストオペレーター1名少人化への挑戦」京浜精密工業株式会社 北海道工場
「リークテスター真空ポンプ冷却水低下異常撲滅」光生アルミ北海道株式会社
- ③行事名：北海道アルミニウム利用技術研究会 第3回アルミニウム技術講演会
日時：平成24年2月9日 14:30～17:00 場所：トヨタ自動車北海道(株) 本館17・18会議室(北海道苫小牧市)
講演：「金属の破壊とその調べ方」講師 室蘭工業大学 副学長(北大名誉教授) 野口 徹 氏
- ④行事名：第4回ものづくり技術交流会
日時：平成24年3月5日【月】 14:30～17:00 場所：(株)ホクダイ (北海道安平町)
「溶湯ガス分析装置ボルケスタによる溶湯管理」トヨタ自動車北海道株式会社
「溶湯保持温度低下による省エネへの挑戦」株式会社ホクダイ
- ⑤行事名：北海道アルミニウム利用技術研究会 第4回アルミニウム技術講演会(実習会)
日時：平成24年3月8日(木) 14:30～17:00 場所：苫小牧工業高等専門学校(北海道苫小牧市)
講演：「Kモールド法によるアルミニウム溶湯清浄性評価」日本軽金属(株)蒲原FC事業グループ課長 鈴木秀紀 氏

2. 支部役員会

- ①日時：平成23年10月12日 場所：北海道大学材料科学部門 マテリアル設計分野会議室 MC811 室
議題：北海道支部講演会に関する打ち合わせ
- ②日時：平成24年3月16日 場所：北海道大学工学部材料科学棟1階中会議室(102)
議題：H24年度北海道支部活動に関する打ち合わせ

2. 東北支部

1. 第1回支部講演会(共催) 第23回溶接・接合研究会
日時：平成23年7月15日(金)13:30～17:30 場所：岩手県工業技術センター
主催：溶接学会東北支部、共催：軽金属学会東北支部、協賛：日本溶射協会関東支部
2. 第2回支部講演会(共催) 東北大学金属材料研究所共同研究ワークショップ 日本バイオマテリアル学会東北地域講演会
「次世代金属系バイオマテリアル開発の新たな展開」
日時：平成23年9月29日～30日 場所：東北大学金属材料研究所講堂
主催：東北大学金属材料研究所共同研究、日本バイオマテリアル学会東北地域
共催：日本学術振興会第176委員会、東北大学、東北大学グローバル COE プログラム材料インテグレーション国際教育研究拠点、軽金属学会東北支部、日本金属学会機能性チタン合金研究会
3. 第3回支部講演会「軽金属学会60周年記念東北支部講演会」
日時：平成23年12月9日(金)10:00～17:20 場所：東北大学金属材料研究所講堂
共催：日本学術振興会加工プロセスによる材料新機能発現第176委員会、日本金属学会東北支部、日本鉄鋼協会東北支部、日本鑄造工学会東北支部、溶接学会東北支部、東北大学グローバル COE プログラム、材料インテグレーション国際教育研究拠点、東北大学金属材料研究所特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト、材料科学国際週間2011-Material Science Week 2011-
4. 第1回支部役員会
日時：平成24年2月15日(水)13:30～15:00 場所：東北大学金属材料研究所 COE 棟セミナー室2

3. 関東支部

1. 第1回運営委員会 出席者16名
日時：平成23年6月15日(水) 15:30～17:10 場所：工学院大学 新宿キャンパス 28階第2会議室
2. 第34回高橋記念賞推薦1件
3. 第2回運営委員会 出席者20名
日時：平成23年8月2日(火) 15:30～17:00 場所：(株)神戸製鋼所 東京本社21階プレゼンテーションルーム
4. 軽金属学会創立60周年記念関東支部特別行事 第1回関東支部 若手研究者育成特別研修会
日時：平成23年9月5日、6日(金) 場所：神戸製鋼所鬼怒川保養所、真岡製造所
参加者：43名 若手研究者27名(企業8名、学生19名)、関東支部運営委員16名(企業5名、学側11名)
若手研究者講演発表件数：27件

第1回関東支部 若手研究者育成特別研修会講演発表における表彰

- ①最優秀研究講演賞 2名 中村 亮司(東工大 熊井研究室)、寺田 佳織(㈱神戸製鋼所 アルミ板研究部)
- ②優秀研究講演賞 8名 高井 学(千葉工大 坂本研究室)、渡部 裕太、萩野 敏基(日大 久保田研究室)
柴田 裕二郎(東工大 里・小林研究室)、高谷 謙斗(東工大 熊井研究室)
本島 大明(横浜国立大 廣澤研究室)、泉 孝裕(㈱神戸製鋼所 アルミ板研究部)
ジャ ルビン(東工大 里・小林研究室)
- ③関東支部長賞 2名 柴田 裕二郎(東工大 里・小林研究室)、寺田 佳織(㈱神戸製鋼所 アルミ板研究部)
- ④自動車メーカー賞 2名 渡壁 尚仁(茨城大 伊藤研究室)、高谷 謙斗(東工大 熊井研究室)
- ⑤優秀聴講者賞 6名 高田 慎太郎(昭和電工㈱ アルミニウム事業部門)、奥出 裕亮(山梨大 機能材料システム工学専攻)、高久 茜(㈱IHI 技術開発本部)、大谷 良行(古河スカイ㈱ 技術研究所)、
小野田 翔太(山梨大 機械システム工学科)、谷川 博昭(工学院大 小野研究室)

特別講演2件 「先端医療を支える高機能金属」東京医科歯科大学生体材料工学研究所 野村直之
「自動車の電動化と軽金属材料の適用」日産自動車㈱ 神戸洋史

5. 第121回 秋期大会(早稲田大学 西早稲田キャンパス)の実行援助

日時:平成23年11月12日(土)、13日(日) 場所:早稲田大学 西早稲田キャンパス

6. 第3回運営委員会 出席者22名

日時:平成23年12月1日(木) 15:30~17:00 場所:芝浦工業大学 豊洲校舎研究棟5階大会議室

7. 平成23年度軽金属希望の星賞受賞候補者の一次選考 枠内申請10名、枠外申請3名選定

8. 第14回軽金属学会功労賞候補者推薦1件

9. 維持会員加入勧誘、訪問活動

10. 工場見学会(予定) 参加者41名

日時:平成24年3月9日(金) ①日産自動車株式会社 横浜工場 鋳造工場、エンジン加工工場、エンジン博物館見学
②いすゞ自動車株式会社 藤沢工場 トラック組み立てライン見学

11. 第4回運営委員会 日時:平成24年3月9日(金) 場所:セミナーハウス湘南台

4. 北陸支部

1. 幹事会(定例2回)

第1回 日時:平成23年4月20日(水) 13:00~15:00 場所:富山大学工学部 大会議室

第2回 日時:平成23年9月9日(金) 13:30~15:00 場所:富山大学工学部 大会議室

2. 講演会(1回) 開催日時:平成23年6月9日(木) 13時30分~16時05分 開催場所:富山大学工学部 大会議室

招待講演「第一原理計算は材料開発に役立つか?」大阪府立大学大学院 工学研究科 教授 東 健司 氏

企業発表①「高強度アルミボルト材料の製造開発」富山住友電工㈱ 技術部 アルミ技術課 赤祖父 保広 氏

企業発表②「超音波振動によるアルミニウム合金の接合」YKK AP株式会社 開発本部 技術開発部 大野木 輝明 氏

3. 幹事研修会(1回)

日時:平成23年10月28日(金)~29日(土)

見学場所:① ワシマイヤー㈱ 高岡工場 大型プレス、自動ライン、NC工程

② 富山県工業技術センター中央研究所・ものづくり研究開発センター

懇親会 民宿・磯波風

4. 支部若手育成支援事業(1件)

(1) 富山大学工学部材料機能工学科 1年生 ものづくりコンテスト

日時:平成23年5月14日(土)~15日(日) 場所:国立富山青少年自然の家 参加学生:54名

5. 一般社団法人軽金属学会北陸支部 60周年記念講演会

日時:平成23年11月25日(金) 14:00~19:30 場所:富山第一ホテル3階・飛鳥の間、記念講演会 3階・飛鳥の間

「軽金属材料の魅力と新たな挑戦」前軽金属学会会長、東京工業大学大学院 教授 里 達雄 先生

「アルミニウム建材産業における技術変遷とこれからの軽金属研究への期待」

三協立山アルミ株式会社 取締役副社長 島 勲 氏

「北陸支部と私」元軽金属学会副会長、前軽金属学会北陸支部支部長、富山大学名誉教授

北陸職業能力開発大学校 校長 池野 進 先生

北陸支部企業発表①「自動車用アルミニウム押出材料開発の取り組み」アイシン軽金属㈱技術開発研究所 吉田 朋夫 氏

北陸支部企業発表②「鋳造工場におけるISO14001」㈱クロタニコーポレーション品質保証課課長代理 森 久修 氏

功労企業・功労者記念表彰 3階・飛鳥の間

- ①支部功労企業表彰(50音順): アイシン軽金属㈱、オリジン工業㈱、㈱クロタニコーポレーション、三協立山アルミ㈱、
三協マテリアル㈱、㈱新日軽北陸、武内プレス工業㈱、㈱TAN-EI-SYA、富山住友電工㈱、
古河スカイ㈱、北陸アルミニウム㈱、宮越工芸㈱、㈱宮本工業所、YKK AP㈱

②感謝状贈呈： 社団法人 高岡アルミニウム懇話会

③支部功労者表彰 (50 音順、敬称略):新瀬 誠、坂下 満雄、佐藤 安司、小善 由和、洲崎 博、竹腰 實、
中越 貞志、中野 義信、松本 英幹、村上 哲、村本 孝義、山下 友一

記念懇親会 3 階・白鳳の間

6. 協賛事業(5 件)

① 湯川記念講演会(主催:日本鉄鋼協会北陸信越支部, 共催:日本金属学会北陸信越支部)

開催日:平成 23 年 7 月 4 日(月) 富山第一ホテル

①講演題目:「熱分析法の材料工学への応用」 富山大学大学院理工学研究部 教授 寺山 清志 氏

②講演題目:「複合表面改質膜による金型寿命の向上」 YKK(株) 執行役員 工機技術本部 基盤技術開発部長
喜多 和彦 氏

② 第 6 回材料物性・材料工学国際会議 (ICPMAT2011)(主催 上海大学・富山大学材料機能工学科)

開催日:平成 23 年 10 月 11 日~14 日 場所:中国・上海大学 7か国、143 名参加、学術発表 120 件

③ 本多光太郎記念特別講演会(主催:日本金属学会北陸信越支部, 共催:日本鉄鋼協会北陸信越支部)

開催日:平成 23 年 12 月 3 日(土) 金沢工業大学

講演題目:「プラズマおよびイオンビームによる材料表面の改質」 金沢工業大学 工学部 教授 作道 訓之 氏

④ 第 39 回富山大学材料研究会

(主催:富山大学材料機能工学科, 共催:日本鉄鋼協会北陸信越支部, 日本金属学会北陸信越支部)

開催日:平成 23 年 10 月 4 日(金) 富山大学 工学部

基調講演 1「マグネシウム合金の時効硬化現象と時効析出組織」 富山大学理工学研究部材料機能工学科 川畑 常真

基調講演 2「超高温高圧用改良 9Cr-1Mo 鍛鋼品の製造とその特性」 大平洋製鋼(株) 富山製造所 山本 有一

「金型寿命と金型の作りやすさを両立した新冷間工具鋼の開発」 日本高周波鋼業(株) 富山製造所 商品開発部 殿村 剛志

「モリブデン材料の強度および破面形態の変化」 (株)アライドマテリアル 材料研究部 角倉 孝典

「VC/Cコーティングの開発」 (株)不二越 ○野口 俊、加藤範博、上田志津代

「下注ぎ大型鋳塊における鋼塊底部の介在物制御シミュレーション」 大平洋製鋼(株) ○池生剛、松岡聡、串田裕紀、瀬尾省逸

「ニッケルフリー白色銅合金の開発」 YKK(株) 工機技術本部 基盤技術開発部 吉村 泰治

⑤ 第 40 回富山大学材料研究会 20 周年記念講演会

(主催:富山大学材料機能工学科, 共催:日本鉄鋼協会北陸信越支部, 日本金属学会北陸信越支部)

開催日:平成 24 年 2 月 14 日(火) 名鉄トヤマホテル

基調講演「大型鍛造品の製造技術の特徴」 大平洋製鋼(株) 富山製造所 顧問 瀬尾 省逸

基調講演「アルミニウム建材産業における技術変遷とこれからの軽金属研究への期待」

三協立山アルミ(株) 取締役副社長 島 勲

特別講演「富山大学の産学連携」富山大学地域連携推進機構 副機構長 富山大学大学院 理工学研究部教授 升方 勝己

企業発表「高効率・低環境負荷のタングステンリサイクル技術の開発」 (株)アライドマテリアル 材料研究部 池ヶ谷明彦

「マグネシウム合金展伸材の製造技術と開発動向」 三協マテリアル(株) マグネシウム統括部 清水 和紀

「不二越の材料研究をふりかえって」 (株)不二越 開発本部 商品開発部 吉田 正就

「最近 5 年間で今後の取り組み(20 年を振り返って)」 大平洋製鋼(株) 富山製造所 品質保証部 山本 有一

「当社研究開発と最近の研究発表、今後の取り組み」 日本高周波鋼業(株) 富山製造所 商品開発部 今井 克哉

「20 年間の歩みとこれからの材料技術開発」 YKK AP(株) 素材技術部 谷畑 弘之

5. 東海支部

1. 会議関係

(1) 総会(1 回) 日時:平成 23 年 4 月 14 日(木)13:20~13:50 場所:名古屋工業大学 講堂

(2) 評議員会(1 回) 日時:平成 23 年 4 月 14 日(木)10:30~12:00 場所:名古屋工業大学 3 号館 2F 大会議室

(3) 理事会(3 回)

第 1 回理事会 日時:平成 23 年 7 月 26 日(火)15:30~17:30 場所:名古屋住友クラブ

第 2 回理事会 日時:平成 23 年 12 月 16 日(金) 10:00~12:40 場所:名古屋大学 レストラン花の木

第 3 回理事会 日時:平成 24 年 3 月 13 日(火)15:00~17:30 場所:名古屋住友クラブ

2. 企画行事等

(1) 第 1 回講演会 「世界に羽ばたく日本の技術-航空機, 鉄道車両, 自動車用リチウムイオン電池-」

日時:平成 23 年 4 月 14 日(木)14:00~19:00 場所:名古屋工業大学 講堂 参加:138 名

講演題目:

1.大型機開発のトピックス 川崎重工業(株) 航空宇宙カンパニー技術本部 哨戒機・輸送機設計部長 理事 野久 徹 君

2.新幹線のしり博士になろう! (株)日立製作所 笠戸交通システム本部 チーフエキスパート 服部 守成 君

3.自動車用リチウムイオン電池の現在とこれから エナックス(株) 代表取締役社長 小沢 和典 君

(2) 軽金属学会創立 60 周年記念 東海支部 特別講演会およびポスター講演会

日時:平成 23 年 10 月 4 日(火)13:00~19:30 場所:名古屋大学 ES総合館 参加:121 名

特別講演会:「超々ジュラルミン開発の歴史」 住友軽金属工業(株) 常務研究員 吉田英雄 君
「金・銀・銅の日本史」 京都国立博物館 学芸部副部長 村上 隆 君

特別展示・講演:「アルミニウム製チェロ」の展示と講演 (株)山下工業所 相談役 山下清登 君
若手研究者ポスター講演会 7名の優秀ポスター賞を授与した。

(3) 第2回講演会「低炭素社会の次世代自動車用材料技術の開発動向」

日時:平成 23 年 12 月 16 日(金) 13:00~17:20 場所:名古屋大学 ES 総合館ESホール 参加:130 名

講演題目:1)「自動車の電動化と軽合金材料の適用動向」 日産自動車(株) 神戸 洋史 君

2)「燃料電池自動車の開発と挑戦」 トヨタ自動車(株) 小島 康一 君

3)「アルミニウム合金と鋼の異種金属接合技術の開発」 (株)神戸製鋼所 松本 剛 君

4)「マグネシウム合金展伸材の製造技術と開発動向」 三協マテリアル(株) 清水 和紀 君

5)「炭素繊維複合材の用途展開」 東レ(株) オートモーティブセンター 山中 亨 君

(4)部会活動

「航空機材料部会」: 部会長、名大 金武教授

官からは中部経済産業局等、産からは航空機の素材メーカー、機体メーカー、部品メーカー、学からは名大、大同大等が集まり、航空機用軽金属材料の課題を明らかにし、産官学の連携で問題解決を目的とする。昨年度後半に4つのWG(切削加工、表面処理、素材製造、リサイクル)を設置し、研究会企画等の議論を深めた。

・第5回航空機材料部会(平成23年12月21日、川崎重工業)

「プレス加工部会」: 部会長、名大石川教授

軽金属のプレス加工全般に関わる課題を明らかにし、軽金属材料をより使いやすくしていくための活動とする。平成23年5月9日に「サーボプレス利用技術の最前線」、平成24年3月5日に「軽金属材料の医療分野への応用」に関する講演会を開催した。

「軽進会」: リーダー、名大 久米先生

産官学の若手会員のネットワークを拡げて交流を活発にし、東海支部の活性化、発展に寄与することを目的とする。平成23年度は、4回の委員会と1回の企画行事を実施した。委員会では、見学会と勉強会を実施した。第120回春期講演会において若手フォーラム「軽金属業界の歩き方」を企画し、若手技術者と学生との交流を深める取組を行った。

「女性の会」: 世話人、三菱アルミ鳥居、日軽金伊藤、住軽金上田

女性のネットワークを作りあげるため、平成23年4月に立ち上げた。活動は年間2~3回予定で、社会人中心の活動と学生向けの活動を並行して行っていく計画である。第120回春期講演大会において、託児室の試験的設置を実施した。期間中の利用者はのべ6名であり、託児室には会員が交代で常駐し、見学者への対応を行った。また、平成23年9月30日に、第一回懇談会を開催し12名の参加があった。分野を問わず多くの人にとって関わりの多い、『機器分析(EPMA)』について、2件の講演を企画した。

(5)軽金属学会第120回春期大会サポート

平成23年5月21-22日、名古屋大学で第120回春期大会(実行委員長:金武先生・名古屋大学)が開催された。東北大震災直後であったが、197件の講演と30件のポスター発表が行われ、盛況な大会となった。大会の運営には支部長をはじめ理事、評議員が多く協力した。

(6)本部表彰

高橋記念賞で支部推薦の豊田中央研究所・上田勇氏が受賞された。軽金属希望の星賞には支部推薦の大田真一郎(名古屋大学大学院)、鶴田秀樹(豊橋技術科学大学大学院)、澁谷将史(名古屋工業大学大学院)の3名が受賞された。

6. 関西支部

1 支部理事会 2回 :平成23年4月8日、平成24年3月12日(予定)

2 支部幹事会 2回 :平成23年4月8日、平成24年3月12日(予定) 支部理事会と合同開催

第1回は、平成23年4月8日(金)16:00~20:00、住友クラブ会議室において支部理事・幹事会を開催した。議題は支部理事の欠員の補充。平成22年度活動報告、決算及び23年度予算について説明承認を得た。また、平成23年度支部活動計画と役割分担、並びに軽金属学会創立60周年記念関西支部事業については実行委員8名がそれぞれ承認された。

第2回は、平成24年3月12日(月)18:00~20:00、住友クラブ会議室にて開催の予定。議題は平成23年度活動、決算報告と平成24年度支部役員の選任、予算および活動計画の承認。

3 軽金属希望の星賞受賞候補者推薦

8名の応募を受け、支部割り当て枠内4名、枠外1名の合計5名を支部推薦者選考委員会で選出した。

4 第34回高橋記念賞への応募

新豆陽金属工業(株)(軽金属学会維持会員)グループの大阪豆陽金属工業(株)において30年間一貫してアルミニウム再生鋳

塊の高純度化に係る業務に従事してきた尾崎敏幸氏を推薦し、受賞を得た。

5 研究会等 4 回開催

5-1 研究会

(1) 若手院生研究者サマースクール「関西軽金属サマースクール」

日時:平成 23 年 9 月 15 日(木)10:00~12:05 場所:京都大学 百周年時計台記念館 国際交流ホール

参加者数:正会員・学生・院生 合計 50 名

講演:①「アルミニウムの表面処理技術」 関西大学 春名 匠

②「チタン表面へのナノポーラス酸化皮膜の形成」 大阪大学 土谷博昭

(2) 軽金属学会関西支部シンポジウム「アルミニウムの新しい用途事例と開発における技術的課題」

日時:平成 23 年 9 月 15 日(木)13:15~16:55 場所:京都大学 百周年時計台記念館 国際交流ホール

参加者数: 正会員・学生・院生 合計 62 名

講演:①「アルミニウムの超塑性成形品」 古河スカイ(株) 工藤 智行

②「ハードディスクドライブ用アルミニウム合金基盤の特長」(株)神戸製鋼所 梅田 秀俊

③「アルミニウム道路橋床版」 日本軽金属(株) 長谷川 常博

④「アルミニウム顔料とその表面処理技術」 東洋アルミニウム(株) 川島 桂

⑤「自転車部品および釣具に使用されるアルミニウム合金」(株)シマノ 坪内 憲治

(3) 軽金属学会 60 周年記念 関西支部講演会 特別講演・若手研究者・院生による研究発表会

日時:平成 23 年 12 月 10 日(土)10:00-19:00 場所:関西大学 100 周年記念会館 ホール

参加者:正会員・学生・院生 合計 130 名

若手研究者・院生による研究発表

講演:①「サーボプレスと潤滑油流路付きパンチを用いたアルミニウム合金のパルス穴あけ加工」 大阪大学 松本 良

②「陽電子消滅法による 6000 系 Al 合金の析出物形成と空孔挙動の研究」 京都大学 院 肖 銀雪

③「Mg-Li 合金冷間圧延材の腐食挙動に及ぼすマイクロ組織の影響」 関西大学 森重大樹

④「垂鉛溶射条件の最適化と熱交換機用チューブの耐食性の向上」 昭和電工(株) 堺アルミ 南 和彦

⑤「縦型双ロールキャストによるアルミニウム合金クラッド材の作製」 大阪工業大学 院 柘植 浩志

⑥「Al-Zn 共析合金の室温超塑性に及ぼす Si の影響」 大阪府立大学 二宮剛規

⑦「波状ロール成形による集合組織の分散化」 兵庫県立大学 足立博哉

ポスターセッション:大阪大学 12 件、関西大学 7 件、近畿大学 6 件、大阪府立大学 7 件、大阪工業大学 6 件、

兵庫県立大学 2 件、京都大学 4 件、山梨大学 2 件、合計 46 件

特別講演(一般公開講演会):「はやぶさ—宇宙科学と技術への挑戦—」

元 宇宙航空研究開発研究所教授、はやぶさプロジェクト サイエントリスト 藤原 顕

フィールドワーク報告発表:大阪工業大学 院生 6 名 1 件

軽金属学会 60 周年記念関西支部式典:

60 周年「関西賞」受賞者:感謝状 6 名、功績賞 56 名、功労賞 34 名、特別功労賞 1 名 合計 97 名

懇親会: 優秀発表・ポスター表彰:優秀発表 2 名、ベストポスター賞 15 名

5-2 出前講座(地域産業における軽金属需要喚起啓発ボランティアプログラム)

「金属疲労のメカニズムと対策」 関西大学連続セミナーに共催参加

日時:平成 24 年 1 月 27 日(金)14:00~16:50 場所:クリエイション・コア東大阪 南館 3 階

参加者:関西地域企業を中心に 合計 105 名

講演:①「金属材料の疲労破壊と破損事故診断技術」 大阪工業大学 西川 出

②「金属疲労のメカニズム」 関西大学 高橋可昌

③「サブミリサイズ試験片による疲労試験技術紹介」(株)神戸工業試験所 村田欣三

④「アルミニウム合金の疲労強度に関する改善事例と評価設備の紹介」 住友金属テクノロジー(株) 福井 清

6 維持会員の増強 関西支部より、平成 24 年度新規加入 1 社 1 口、復帰 1 社 1 口を確約

7. 中国四国支部

1. 支部講演大会の開催

日時:2011 年 7 月 9 日(土) 場所:弓削商船高等専門学校 アセンブリホール、マルチメディア教室

2. 研究会の開催

2-1 第 1 回研究会

日時:2011 年 10 月 14 日(金) 13:25~17:15 場所:愛媛大学工学部本館3階大会議室

講演:①マルテンサイト変態のカイネティクスと起源

大阪大学 掛下知行

②粒子分散等軸粒ナノ組織をもつ金属材料の粒界すべり活用による高韌性化

東北大学 栗下裕明

③規則相を含む相分離組織の観察と状態図

名古屋工業大学 小坂井孝生

2-2 第 2 回研究会

日時：2012 年 2 月 29 日(水) 10:00～16:30 場所：岡山国際交流センター 3 階研修室

講演：①広帯域スペクトロスコープによる金属酸化物の分極/電気伝導挙動の解析 岡山大学 寺西貴志
②中炭素鋼の析出挙動とモデル化 岡山大学 岩佐尚幸
③電子ビーム積層造形法による、生体用チタン合金の作製と組織観察 ナカシマメディカル(株) 福田英次

ポスターセッション: 39 件

3. 若手フォーラム

日時：2011 年 12 月 2 日(金) 10:00～16:30 場所：島根大学松江キャンパス 総合理工学部3号館2階多目的ホール

基調講演: アルミニウム合金中の溶質クラスター生成とセレーション 岡山理科大学 金谷輝人
講演(12 件): ①真空吸引装置による ADC12 合金の流動長に及ぼす金型温度の影響 岡山県立大学 氏平信輔
②C 添加 AZ91D 射出成形品の強度特性 岡山県立大学 鈴木昌樹
③多結晶塑性理論による 5000 系アルミニウム合金の弾塑性挙動の解析予測 広島大学 小林 匠
その他 9 件

4. 支部役員会

日時：平成 23 年 7 月 9 日(土) 場所：弓削商船高等専門学校

5. 支部各賞授与

5-1 優秀講演賞 7 件

5-2 研究・開発奨励賞 3 件

5-3 奨励賞 12 件

推薦依頼状を中国四国支部内で軽金属学会会員の存在する大学および高専に送付。各校から 1 名を推選して頂く。

8. 九州支部

1. 日本金属学会九州支部・日本鉄鋼協会九州支部・軽金属学会九州支部 共催

平成 23 年度合同学術講演大会 日時：平成 23 年 6 月 11 日(土) 場所：九州大学総合理工学府筑紫キャンパス

2. 第 85 回役員会 日時：平成 23 年 7 月 26 日(火)12:00～13:30 場所：九州柳河精機株式会社

3. 第 85 回例会 日時：平成 23 年 7 月 26 日(火)12:00～13:30 場所：九州柳河精機株式会社 研修室 A

講演：軽量高強度鍛造ピストンの開発 岡 知生 氏(本田技術研究所・二輪 R&D センター第 3 開発室)
遷移域充填式ダイカスト法の基本概念と中空溶接車体構造部品への適用
川内 敦 氏(九州柳河精機株式会社 鑄造技術開発課 係長)
純チタン単結晶における疲労破壊挙動 安藤新二氏(熊本大学大学院自然科学研究科 教授)

九州支部合同講演会学生ポスター賞受賞講演(軽金属関係抜粋)

抵抗クラディングによるアルミニウムの耐摩耗層の形成 宇谷卓憲氏(九州工業大学大学院生)

Mg-Zn-Y 合金一方向凝固材を用いた長周期積層構造相のマイクロスケール引張試験

小田浩明氏(九州大学大学院生)

Mg-Al-Ca 系合金の高温変形機構への初期微細組織の影響

石井良樹氏(九州大学大学院生)

工場見学(九州柳河精機)

4. 九州支部主催 軽金属学会 60 周年記念シンポジウム(共催：第 42 回高性能 Mg 合金創成加工研究会定期講演会)

日時：平成 23 年 10 月 22 日(土) 10:20～18:30 場所：熊本大学工学部百周年記念館

共催：高性能 Mg 合金創成加工研究会

協賛：日本金属学会・日本鉄鋼協会九州支部、日本機械学会九州支部、日本材料学会九州支部、

日本塑性加工学会九州支部、玉名市、くまもとテクノ産業財団、熊本大学・拠点形成研究 Mg

後援：熊本県

プログラム：開会の挨拶

中島英治 軽金属学会理事、九州大学教授

谷口 功 熊本大学長

記念講演「肥後が輩出した五十嵐勇博士と超々ジュラルミン」

吉田英雄 住友軽金属工業常務研究員

記念講演「軽金属学会九州支部の歩み」

美浦康宏 軽金属学会九州支部元支部長、九州大学名誉教授

記念式典(功労賞表彰式、記念撮影)

功労賞受賞者 黒河幸次(宇部興産株式会社)、田中真一(九州三井アルミニウム工業株式会社)、前原和晃(神鋼閉門
総合サービス株式会社、村上充徳(九州柳河精機株式会社)、米崎久徳(不二ライトメタル株式会社)

企業製品および研究ポスター展示

技術・学術講演会

「電磁成形を利用したアルミ押出材の成形加工技術」

○細井寛哲、橋本成一、海読一正(株)神戸製鋼所 アルミ銅事業部門

「スクイズホイールの型寿命改善と水分起因欠陥低減の取り組み」

村田満男、黒河幸次、西 守、三吉博晃、安達 充 宇部興産ホイール(株)

「偏析法による高純度アルミ精製技術」

○吉田 聡 九州三井アルミニウム工業(株)

「不二ライトメタル(株)のマグネシウム事業への取組み」

○米崎久徳 不二ライトメタル(株)

「析出強化アルミニウム合金のさらなる高強度化を目指して」

○堀田善治 九州大学主幹教授

「高純度アルミニウム箔の再結晶集合組織形成機構」

○池田賢一 九州大学助教、中島英治 九州大学教授

「アルミニウム合金のプロセス制御による材質向上」

○恵良秀則 九州工業大学教授

「長周期積層構造型マグネシウム合金の研究開発動向」

○河村能人 熊本大学教授

閉会の挨拶

河村能人 軽金属学会九州支部支部長、熊本大学教授

5. 第 86 回役員会 日時:平成 24 年 2 月 3 日(金) 11:40~13:00 場所:宇部興産ホイール株式会社 応接室

6. 第 86 回例会 日時:平成 24 年 2 月 3 日(金) 11:40~13:00 場所:宇部興産ホイール株式会社 応接室

講演:自動車用アルミ部品における工法と合金の最適化

山縣 裕氏(岐阜大 金型創生技術研究センター 教授)

高品質鋳物開発の流れと今後の展開(合金とプロセスの観点から)

安達 充氏(宇部興産ホイール)

工場見学(宇部興産ホイール)

Ⅱ. 処務の概況

[1] 役員等に関する事項

1. 役員

職名	氏名	常勤・非常勤	就任年月日 (最初の就任の時)	重任年月日 (現在の任期の 開始時)	報酬	担当	現職名
代表理事・ 会長	山内 重徳	非常勤	平成 23 年 5 月 21 日		なし	組織	住友軽金属工業(株)社長
代表理事・ 副会長	三輪 謙治	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	総合計画	公益財団法人科学技術 交流財団 主幹研究員
同上	伊藤 吾朗	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	総務	茨城大学教授
理事	小野 幸子	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	大会運営	工学院大学教授
同上	熊井 真次	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	国際交流	東京工業大学教授
同上	世利 修美	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	編集	室蘭工業大学教授
同上	高山 善匡	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	編集	宇都宮大学教授
同上	辻 伸泰	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	企画	京都大学教授
同上	戸田 裕之	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	研究	豊橋技術科学大学教授
同上	仲井 清真	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	支部	愛媛大学教授
同上	中島 英治	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	大会運営	九州大学教授
同上	成島 尚之	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	編集	東北大学教授
同上	松田 健二	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	総務	富山大学教授
同上	本保元次郎	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	大会	千葉工業大学教授
同上	山本 厚之	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	参与会	兵庫県立大学教授
同上	相浦 直	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	参与会	(株)神戸製鋼所担当部長
同上	岡本 一郎	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	国際交流	日本軽金属(株)取締役常務 執行役員
同上	沖 善成	同上	平成 13 年 4 月 1 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	大会運営	三協立山アルミ(株)顧問
同上	神戸 洋史	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	企画	日産自動車(株)エキスパート リーダー
同上	栃木 雅晴	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	企画	昭和電工(株)アルミニウム事 業部門技術センター長
同上	村松 俊樹	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	総務	古河スカイ(株)技術研究所所 長
同上	吉田 英雄	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	研究、支部	住友軽金属工業(株) 常務研究員
同上	渡辺 英雄	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	参与会	三菱アルミニウム(株)研究開 発部部長
監事	加藤 数良	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	財産の状況・ 理事の業務状 況を監査	日本大学教授
同上	福岡 潔	同上	平成 17 年 5 月 14 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	同上	ハイドロアルミニウム・ジャ パン(株)技術顧問

[2] 職員に関する事項

職名	氏名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	大園 智哉	常勤	平成 17 年 4 月 1 日	全般	
職員	前田その美	常勤	平成 8 年 4 月 1 日	庶務	
職員	木村 明子	常勤	平成 8 年 4 月 1 日	編集	
職員	高野 正明	非常勤	平成 16 年 4 月 1 日	経理	

[3]会議等に関する事項

1. 総会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第1回定時総会	平成23年 5月21日	1. 平成22年度事業報告に関する件 2. 平成22年度決算報告に関する件 3. 平成23年度事業計画の件 4. 平成24年度収支予算に関する件 5. 名誉会員推薦に関する件 6. 理事及び監事の報酬に関する件 7. 会費に関する件 8. 平成23・24年度役員の選任に関する件	1. 全員異議なく原案通り承認可決。 2. 全員異議なく原案通り確認。 3. 全員異議なく原案通り承認可決。 4. 全員異議なく原案通り確認。 5. 全員異議なく原案通り承認可決。 6. 全員異議なく原案通り承認可決。 7. 全員異議なく原案通り承認可決。 8. 全員異議なく原案通り承認可決。

2. 理事会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第1回理事会	平成23年 4月26日	【審議事項】 1. 創立60周年記念事業計画に関する件 2. 平成23・24年度役員担当に関する件 3. 第1回定時総会資料及び第2回理事会資料に関する件 4. 第122回春期大会実行委員会委員(案)および予算(案)に関する件 5. 規程類の改訂に関する件 6. ロボコン支援選考結果に関する件 7. 会員異動に関する件 8. 組織改正に関する件 9. アジア国際交流に関する件 10. 研究委員会小委員会の継続に関する件 【報告事項】 1. 常設委員会報告	1. 全会一致で承認可決。 2. 全会一致で承認可決。 3. 一部修正のうえ全会一致で承認可決。 4. 全員異議なく承認可決。 5. 一部修正し全員異議なく承認可決。 6. 全会一致で承認可決。 7. 全会一致で承認可決。 8. 全会一致で承認可決。 9. 全会一致で承認可決。 10. 全会一致で承認可決。 1. 資料に基づき報告。
第2回理事会	平成23年 5月21日	【審議事項】 1. 会長及び副会長選任に関する件 2. 役員の業務担当に関する件	1. 全会一致で承認可決。 2. 全会一致で承認可決。
第3回理事会	平成23年 6月22日	【確認事項】 1. 第2回理事会議事録の確認 【審議事項】 1. 常設委員会委員選任に関する件 2. 選考委員会委員選任に関する件 3. 第122回春期大会実行委員の追加に関する件 4. 学会代表委員の変更・推薦に関する件 5. 支部費配分に関する件 6. 会員異動に関する件 【報告事項】 1. 常設委員会報告	1. 全員異議なく確認。 1. 一部修正追記することで全員異議なく承認可決。 2. 一部確認することで全員異議なく承認可決。 3~6. いずれも原案通り全員異議なく承認可決。
第4回理事会	平成23年 9月29日	【確認事項】 1. 第3回理事会議事録の確認 【審議事項】 1. 各賞表彰選考に関する件 2. 創立60周年記念表彰に関する件 3. 平成23年度軽金属学会特別維持委員会会費請求に関する件 4. 新設研究部会公募に関する件 5. 規程類改訂に関する件	1. 全員異議なく確認。 1. 全会一致で承認可決。 2. 全会一致で承認可決。 3. 全会一致で承認可決。 4. 全会一致で承認可決。 5. 全会一致で承認可決。

		6. 学会託児室第2回試行案に関する件 7. エネルギー利用技術作品コンテスト後援申請書に関する件 8. 会員異動に関する件 9. 常設委員会委員の変更に関する件 【報告事項】 1. 第120回春期大会決算に関する件 2. 他学会との協賛事業に関する件 3. 常設委員会報告 4. ロボコン報告 5. 科学技術人材育成コンソーシアム報告	6. 全会一致で承認可決。 7. 全会一致で承認可決。 8. 全会一致で承認可決。 9. 全会一致で承認可決。 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。 4. 資料に基づき報告。 5. 資料に基づき報告。
第5回 理事会	平成23年 10月27日	【確認事項】 1. 第4回理事会議事録の確認 【審議事項】 1. 軽金属学会賞・功労賞、功績賞選考委員会の委員選任に関する件 2. 会員異動に関する件 【報告事項】 1. 他学会との協賛事業の件 2. 常設委員会報告の件 3. 支部活動状況報告 4. 軽金属学会賞等三賞の募集について	1. 全員異議なく確認。 1. 全会一致で承認可決。 2. 全会一致で承認可決。 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。 4. 資料に基づき報告。
第6回 理事会	平成24年 1月30日	【確認事項】 1. 前回(第5回)理事会議事録の確認 【審議事項】 1. 軽金属希望の星賞選考に関する件 2. 第123回秋期大会実行委員会委員構成(案)および予算書(案)に関する件 3. 各種規程類の改訂に関する件 4. 春秋大会における託児室設置試行結果報告と今後に関する件 5. 会員異動に関する件 6. 新設研究部会公募に関する件 【報告事項】 1. 第121回秋期大会収支報告に関する件 2. 他学会との協賛事業の件 3. 常設委員会報告の件	1. 全員異議なく確認。 1. 全会一致で承認可決。 2. 全会一致で承認可決。 3. 全会一致で承認可決。 4. 全会一致で承認可決。 5. 全会一致で承認可決。 6. 全会一致で承認可決。 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。
第7回 理事会	平成24年 2月28日	【確認事項】 1. 前回(第6回)理事会議事録の確認 【審議事項】 1. 第15回軽金属学会賞に関する件 2. 第14回軽金属学会功労賞に関する件 3. 第10回軽金属功績賞に関する件 4. 会員異動に関する件 5. 一般社団法人平成24年度定時総会開催に関する件 【報告事項】 1. 平成23年度収支決算見込みに関する件 2. 他学会との協賛事業の件 3. 常設委員会報告の件	1. 全員異議なく確認。 1. 全会一致で承認可決。 2. 全会一致で承認可決。 3. 全会一致で承認可決。 4. 全会一致で承認可決。 5. 全会一致で承認可決。 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。
第8回 理事会	平成24年 3月29日	【確認事項】 1. 前回(第7回)理事会議事録の確認 【審議事項】 1. 平成24年度事業計画に関する件 2. 平成24年度収支予算に関する件 3. 名誉会員推薦に関する件	1. 全員異議なく確認。 1. 全会一致で承認可決。 2. 全会一致で承認可決。 3. 全会一致で承認可決。

	4. 永年会員推薦に関する件 5. 規程類の改訂に関する件 6. 支部長交代の件 7. 常設委員会委員の変更に関する件 8. 会員異動に関する件 9. 科学技術人材育成コンソーシアムについて 【報告事項】 1. 支部平成23年度活動報告及び平成24年度活動計画について 2. 研究部会平成23年度事業報告及び平成24年度事業計画について 3. 他学会との協賛事業の件 4. 平成24年度理事会等日程 5. 常設委員会報告の件	4. 全会一致で承認可決。 5. 一部修正または再検討することで、全会一致で承認可決。 6. 全会一致で承認可決。 7. 全会一致で承認可決。 8. 退会者についての報告を確認。 9. 次年度より退会することを全会一致で承認可決。 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。 4. 資料に基づき報告。 5. 資料に基づき報告。
--	--	--

3. 各種委員会

(1) 参与会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第12回 参与会	平成23年 10月3日	1. 研究室見学 2. 講演会「宇宙太陽光発電所と無線送電に関する研究開発の現状」 3. 委員会	1. 宇治キャンパスに新設のマイクロ波によるエネルギー伝送実験施設を見学。 2. 京都大学篠原真毅教授の講演。 3. 感想及び要望を聴取。

(2) 総合計画委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
平成21・22年度 第12回	平成23年 4月26日	1. 60周年記念行事見直し計画案について 2. 平成23年度収支予算書について 3. 軽金属学会の今後の検討課題について	1. 原案の通り承認し、本日開催の理事会に諮ることを決定。 2. 原案の通り承認し、本日理事会にて説明することを決定。 3. 次期委員会への引継ぎ事項について審議し、うち、組織改正については原案を承認し、本日開催の理事会に諮ることを決定。
平成23・24年度 第1回	平成23年 9月29日	1. 軽金属学会・今後の検討課題への対応 2. 60周年記念事業の進捗状況報告 3. 正味財産期末残高推移と収支改善案 4. 維持会員増強について 5. 大会剰余金の支部への還元について 6. 支部費配分の見直しについて	1. 原案のとおり確認。 2. 担当部長より報告。 3. 次回委員会にて再検討する。 4. 継続して検討する。 5. 支部長会にて具体案を検討する。 6. 支部長会にて具体案を検討する。
第2回	平成23年 10月27日	1. 学会収支の改善について 2. 維持会員拡大について	1. 収支悪化の主要因を確認し、対応策を検討した。 2. 今後、支部ベースに分担し、企業を直接訪問して新規加入および再加入を依頼する。
第3回	平成24年 1月30日	1. 平成23年度決算予測について 2. 維持会員増強について 3. 支部配賦金配分の見直しについて 4. 大会剰余金の支部への還元について	1. 決算予測を確認し、収支改善の今後の対応策を検討した。 2. 維持会員訪問記録に基づき、各支部長から説明があった。 3. 4. 次回以降の委員会で継続審議し、結論を出すこととした。
第4回	平成24年 2月28日	1. 平成23年度決算予測及び平成24年度予算案	1. 原案のとおり確認。

		2. 維持会員増強について 3. 支部配賦金配分の見直しについて 4. 大会剰余金の支部への還元について	2. 各支部からの維持会員訪問記録に基づき報告。 3. 支部長会にて再検討する。 4. 当会の財政状況の回復を確認するまで保留とする。
第5回	平成24年 3月29日	1. 平成24年度予算案について 2. 維持会員増強について 3. 支部配賦金配分の見直しについて 4. 大会企画に関する支部長会からの要望について	1. 原案のとおり確認。 2. 各支部からの維持会員増強状況について報告。 3. 臨時支部長会の結果を報告。 4. 支部の意向を重視しつつ関係委員会が連携を取ることとする。

(3) 総務委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第241回	平成23年 7月19日	1. 引継ぎ事項について 2. 学会創立60周年記念事業について 3. 規程類改定案について 4. 第121回秋期大会懇親会のアルミ缶ビール代寄付のお願い	1. 引継ぎ事項を確認。 2. 原案を確認した。 3. 原案を確認。 4. 軽圧6社及び三協立山アルミへの従来同様の寄付の依頼を承認。
第242回	平成23年 9月12日	1. 学会創立60周年記念事業について 2. 規程類改定案について	1. 60周年記念表彰者、感謝状贈呈者を確認。 2. 各種規程類改定案について確認。
第243回	平成23年 11月30日	1. 規程類改定案について 2. 次年度以降のロボコン支援について	1. 各種規程類改定案について確認。 2. 次回委員会で継続審議する。
第244回	平成24年 1月18日	1. 平成23年度軽金属希望の星賞二次選考 2. 規程類改定案について 3. 次年度以降のロボコン支援について	1. 理事会に27名を諮ることとした。 2. 各種規程類改定案について確認。 3. 来年度以降のロボコン支援を打ち切る。
第245回	平成24年 3月14日	1. 名誉会員推薦の件について 2. 永年会員推薦の件について 3. 規程類改定案について 4. 平成24年度総会資料について 5. 科学技術人材育成コンソーシアムについて 6. 第122回春期大会懇親会のアルミ缶ビール代寄付のお願い	1. 理事会に諮ることとした。 2. 理事会に諮ることとした。 3. 原案をもとに審議・修正し、理事会に諮ることとした。 4. メールで各委員に確認を依頼する。 5. 次年度よりの退会を理事会に諮る。 6. 軽圧6社と三協立山アルミ(株)に各3万円の寄付を依頼することとした。

(4) 企画委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第204回	平成23年 4月15日	1. 軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」の開催について 2. 高信頼性ダイカストのシンポジウム準備状況報告 3. 第87回シンポジウム 表面処理技術研究部会成果報告 4. 時効析出セミナーについて 5. 次期委員会への引継ぎ事項について	1. 企業の参加見込み人数を調査する。 2. 10月以降の開催で企画を進めることを確認。 3. 原案を一部修正のうえ、会告案とすることを決定。 4. 関西大学で開催する案を承認し、開催日を決定。 5. 委員長案について検討し、一部追加のうえ次回委員会で継続審議。
第205回	平成23年 6月17日	1. 軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」の開催について 2. 第87回シンポジウムの進捗状況 3. 第88回シンポジウムの進捗状況 4. 第31回セミナー「アルミニウム合金の時効析出」について 5. 次期委員会への引継ぎ事項について	1. 企業の参加見込み人数を調査した結果、実施することを決定。 2. 準備状況を確認。 3. 準備状況を確認。 4. スケジュール、会場手配等を確認。 5. 次期委員会への引継ぎ事項を確認。

平成 23・ 24 年度 第 1 回	平成 23 年 8 月 25 日	1. 前期委員会からの引継ぎ事項 2. 今年度の開催事業について 1) 軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」の進捗状況 2) 第 87 回シンポジウムの進捗状況 3) 第 88 回シンポジウムの進捗状況 4) 第 31 回セミナー「アルミニウム合金の時効析出」 5) シンポジウム「高信頼性ダイカスト」関連	1. 継続検討が必要な事項を確認。 2. 1) 進捗状況を確認。 2) 進捗状況を確認。 3) 進捗状況を確認。 4) 進捗状況を確認。 5) 次回以降に検討。
第 2 回	平成 23 年 10 月 25 日	1. 今年度の開催事業について 1) 軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」の実施結果 2) 第 87 回シンポジウムの実施結果 3) 第 88 回シンポジウムの進捗状況 4) 第 31 回セミナー「アルミニウム合金の時効析出」進捗状況 2. 次年度以降の開催事業について	1. 1) 実施結果を確認。 2) 実施結果を確認。部会報告会を兼ねたシンポは、開催方法の再検討が必要。 3) 進捗状況を確認。 4) 進捗状況を確認。 2. 次回委員会にて検討する。
第 3 回	平成 23 年 12 月 21 日	1. 第 88 回シンポジウムの実施結果 2. 第 31 回セミナー「アルミニウム合金の時効析出」の実施結果 3. 次年度以降の開催事業について 1) 第 89 回シンポジウムについて 2) 次年度以降の開催事業について 4. 研究委員会への依頼事項	1. 実施結果を確認。 2. 実施結果を確認。 3. 1) 第 89 回シンポジウム具体案について審議した。 2) 次年度以降の開催事業について、候補テーマを検討した。 4. 研究委員会への依頼事項内容を審議し、一部修正することとした。
第 4 回	平成 24 年 2 月 27 日	1. 平成 24 年度基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」の準備状況 2. 第 89 回シンポジウム「高品質・高信頼性ダイカスト・鋳物の最新動向と未来(仮題)」会告案 3. 研究委員会への依頼事項 4. 新規シンポジウム案について	1. 資料に基づき報告。 2. 近日中に会告案を作成する。 3. 原案を一部見直して次回研究委員会に依頼する。 4. 次回委員会に具体案を提示する。

(5) 編集委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第 547 回 幹事会	平成 23 年 4 月 7 日	1. 軽金属 3、4、5 月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属 6 月号の掲載内容決定 5. 60 周年記念連載講座 6. Mater. Trans. の発刊状況について	1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定した。 5. 掲載内容を検討、決定した。 6. 発刊の遅延見込を確認した。
第 548 回 幹事会	平成 23 年 5 月 11 日	1. 軽金属 4、5、6 月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属 7 月号の掲載内容決定	1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、決定した。 4. 掲載内容を検討、決定した。
編 集 委 員 会	平成 23 年 5 月 22 日	1. Mater. Trans. ICAA12 特集号について報告 2. 60 周年記念特集号(平成 23 年 11 月号)について 3. 今後の支部特集号について 4. 次年度編集委員会への引き継ぎ事項・要望事項	1. 説明を受け、確認した。 2. 説明を受け、確認した。 3. 説明を受け、確認した。 4. 説明を受け、確認した。
第 549 回 幹事会	平成 23 年 6 月 6 日	1. 軽金属 5、6、7 月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属 8 月号の掲載内容決定	1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定した。

		5. 次年度への引継ぎ事項	5. 次年度への引継ぎ事項を確認した。
第550回 幹事会	平成23年 7月4日	1. 軽金属6、7、8月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属9月号の掲載内容決定 5. 前年度からの引継ぎ事項	1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定した。 5. 前年度からの引継ぎ事項を確認した。
第551回 幹事会	平成23年 8月8日	1. 軽金属7、8、9月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属10月号の掲載内容決定 5. 60周年記念特集号について	1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定した。 5. 進捗状況を確認した。
第552回 幹事会	平成23年 9月1日	1. 軽金属8、9、10月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属11月号の掲載内容決定 5. 各分担の進捗状況について	1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定した。 5. 進捗状況を確認した。
第553回 幹事会	平成23年 10月6日	1. 軽金属9、10、11月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属12月号の掲載内容決定 5. 投稿審査システムについて 6. 各分担の進捗状況について	1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定した。 5. J-STAGE3 投稿審査システムの新規 利用公募に応募し、採択された。 6. 進捗状況を確認した。
第554回 幹事会	平成23年 11月2日	1. 軽金属10、11、12月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属1月号の掲載内容決定 5. 投稿審査システムについて 6. 次期特集号について	1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定した。 5. 先方窓口への回答事項を確認した。 6. テーマ候補を確認した。
編集 委員会	平成23年 11月13日	1. 60周年記念特集号(平成23年11月号)について報告 2. J-STAGE3 投稿審査システム利用について	1. 進捗状況を確認した。 2. 説明を受け、確認した。
第555回 幹事会	平成23年 12月2日	1. 軽金属11、12、1月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属2月号の掲載内容決定 5. 次期特集号について	1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定した。 5. 企画案について進捗状況を確認し た。
第556回 幹事会	平成24年 1月13日	1. 軽金属12、1、2月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属3月号の掲載内容決定 5. 次期特集号について 6. 次期連載講座について 7. 投稿審査システム導入について	1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定した。 5. 進捗状況を確認した。 6. 2案について、3月に方針を決定す る。 7. 運用方法について討議した。
第557回 幹事会	平成24年 2月3日	1. 軽金属1、2、3月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属4月号の掲載内容決定 5. 次期特集号について 6. 次期連載講座について 7. 投稿規程の見直し 8. 投稿審査システム導入について	1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定した。 5. 進捗状況を確認した。 6. 進捗状況を確認した。 7. 見直し案を総務委員会に諮る。 8. 編集委員の試用による意見を聞く。

第558回 幹事会	平成24年 3月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軽金属2、3、4月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属5月号の掲載内容決定 5. 次期特集号について 6. 次期連載講座について 7. 投稿規程の見直し 8. 投稿審査システム導入について 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進捗状況を確認した。 2. 掲載可否を検討した。 3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定した。 5. 進捗状況を確認した。 6. 進捗状況を確認した。 7. 見直し案を総務委員会に諮る。 8. 3月15日より運用開始する。
--------------	---------------	--	--

(6)国際交流委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第7回	平成23年 4月11日	<ol style="list-style-type: none"> 1. ALFM(Asian Forum on Light Metals)及びICP(International Communication Program)の今後のあり方について 2. ICPのHP開設について 3. 次期委員会への引継ぎ事項について 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 討議を行い、原案を次回理事会に諮る。 2. 原案を承認。 3. 当委員会に関わる部分を確認。
平成23・ 24年度 第1回	平成23年 9月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1. アジアフォーラム(AFLM)、ICPおよびホームページについて 	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまでの経緯、問題点を確認した上で、今後の方針および委員の役割分担を決定した。
第2回	平成23年 10月20日	<ol style="list-style-type: none"> 1. ACN(新ICP)開催について 2. ACNのホームページ開設について 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ACNについての関係各国代表への提案書を検討。次回までに英文案および予算書案を作成する。 2. ホームページ案を了承、今後作成を進める。
第3回	平成23年 12月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1. ACN開催について (1)関係各国代表への提案書 (2)ミーティングの予算書 2. ACNのホームページ開設について 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ACNについての関係各国代表への提案書及び来秋開催ミーティングの予算書を検討した。 2. ACNのホームページ構成案を検討した。
第4回	平成24年 3月6日	<ol style="list-style-type: none"> 1. ANLM(新ICP)開催について 2. ANLMのホームページ開設について 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新ICPとして当初案ACNを改めANLM(Asian Network on Light Metals)とすることで合意。提案書の内容を確認し、各国の代表に提出することとした。 2. 基本案を了承し、開設を進めることとした。

(7)大会運営会議

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第1回	平成23年 7月26日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 引継ぎ事項について 2. 大会運営について ①第120回春期大会の反省点 ②テーマセッション募集日程について 3. 第121回秋期大会の準備状況について 4. 第122回春期大会の開催計画について 5. 託児室設置の件 6. 第121回秋期大会プログラム編成 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 引継ぎ事項について確認。 2. ①第120回春期大会の反省点を確認。 ②第122回春期大会のテーマセッション募集日程を確認。 3. 第121回秋期大会の準備状況を確認。 4. 第122回春期大会の開催計画を確認。 5. 女性会員の会より前回の報告と次回の提案あり。 6. プログラム編成を実施。
第2回	平成24年 1月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマセッション募集日程について 2. 大会運営について ①前回(第121回秋期大会)の決算報告 ②前回(第121回秋期大会)の反省 ③託児室の設置試行結果について ④講演概要の電子化について 3. 第122回春期大会の準備状況について 4. 第123回秋期大会の計画について 5. 第122回春期大会プログラム編成会議 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局案のとおり承認した。 2. 大会運営について ①決算報告を確認した。 ②反省事項について確認した。 ③託児室の設置試行結果報告を確認、次回理事会に今春からの実施を諮る。 3. 準備状況を確認した。 4. 計画を確認した。 5. プログラム編成を実施。

(8) 研究委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第1回	平成23年 7月14日	1. 引継ぎ事項について 2. 平成23年度研究部会テーマについて 3. 新設部会について 4. 常設部会について	1. 引継ぎ事項について確認。 2. 研究部会テーマについて確認。 3. 新設部会1件の公募について、理事会に諮ることを承認。 4. 従来の常設部会を解散し、新たな形を検討することを決定。
第2回	平成23年 9月30日	1. 研究部会平成23年度事業中間報告について 2. 企画委員会から研究委員会へのお願い事項 3. 自動車用アルミ低コスト化技術交流会 4. 材料戦略委員会第21回材料戦略部会	1. 活動中の8部会中、7部会より報告。 2. 次回議論する。 3. 提案内容を検討する。 4. 活用方法を次回検討する。
第3回	平成23年 12月6日	1. 平成23年度事業中間報告 2. 研究委員会の今後の取り組みについて	1. 高機能押出加工技術研究部会より報告。 2. 副委員長がプラン様式案を作成する。それを基にプランを作成する。
第4回	平成24年 3月7日	1. 研究部会本年度活動報告・決算見込み及び次年度事業業計画 2. 研究委員会の研究戦略について 3. 企画委員会から研究委員会への依頼事項	1. 資料に基づき報告、審議し了承した。 2. 次年度、研究部会長に大型プロジェクトの研究計画の提出を依頼する。 3. 次回までの懸案事項とする。

(9) 支部長会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第1回	平成23年 5月22日	1. 平成22年度支部収支報告書および平成23年度支部収支予算書、新々会計基準について、および第1四半期決算資料送付について 2. 平成23年度支部費配分について 3. 今後の開催予定地について 4. 高橋記念賞について 5. 軽金属希望の星賞規程及び選考細則改訂版について 6. 年間表彰スケジュールについて	1. 事務局が提示した資料を確認。 2. 事務局が提示した原案通り承認。 3. 事務局が提示した原案通り承認。 4. 事務局より提示した委員案の変更を希望の場合、事務局まで連絡。 5. 浅見前理事・総務委員長からの説明を確認。 6. 事務局より提示した資料を確認。
第2回	平成23年 11月13日	1. 今後の開催予定地について 2. 軽金属希望の星賞についての確認 3. 年間表彰スケジュールについて 4. 平成23年度中間支部決算について 5. 維持会員増強について 6. 大会剰余金の支部への還元について 7. 支部配賦金配分の見直しについて	1. 事務局より提示した資料を確認。 2. 事務局より提示した資料を確認。 3. 事務局より提示した資料を確認。 4. 事務局より提示した資料を確認。 5. 10月27日開催の理事会に報告された内容について確認した。 6. 総合計画委員会の判断に委ねることとした。 7. 総合計画委員会で全体的見直しを検討してもらうこととした。
臨時支部長会	平成24年 3月15日	1. 支部費配分の見直しについて 2. 大会企画に関する総合計画委員会への要望について	1. 本会で合意した案を各支部に持ち帰り検討の上、次回支部長会で結論を出す。 2. 総合計画委員会へ提案する。

[4] 許可、認可、承認、証明に関する事項

連絡年月日	議事事項	履行状況
平成23年4月1日	一般社団法人登記	一般社団法人としての登記を実施。

[5]契約に関する事項 該当なし

[6]寄付金に関する事項 該当なし

[7]主務官庁からの連絡および報告事項

連絡年月日	議 事 事 項	履行状況
平成 23 年 6 月 25 日	平成22年度事業報告及び収支決算報告書	旧主務官庁の文部科学省へ郵送にて提出
平成 23 年 6 月 28 日	公益目的財産額の確定	内閣府に関係書類を提出
平成 23 年 7 月 14 日	公益目的財産額の確定	内閣府より承認通知書を受領

[8]その他重要事項 特になし

[9]会員動向

() 内は内数

	名誉会員	永年会員	個人会員				合計
			正会員	学生会員	外国人	合計	
平成 24 年 4 月 1 日	50	76	1,654	264	(9)	1918	2,044
平成 23 年 4 月 1 日	49	67	1,705	264	(8)	1,969	2,085
差引増減	1	9	△51	-	(1)	△51	△41

正会員の内訳

	大学・高専等	公的研究機関	企業等	その他	合計
平成 24 年 4 月 1 日	463	103	1,050	38	1,654
平成 23 年 4 月 1 日	447	88	1,103	67	1,705
差引増減	16	15	△53	△29	△51

特別維持会員・維持会員・年間購読の内訳

	特別維持会員	維持会員	口 数									年間購読
			10	8	6	5	4	3	2	1	合計	
平成 24 年 4 月 1 日	6	120	2	0	0	0	1	3	16	101	166	85
平成 23 年 4 月 1 日	6	107	3	0	0	0	1	2	16	85	157	90
差引増減	-		△1	-	-	-	-	1	-	16	9	△5